

第9章 水資源に関する理解の促進

1 水資源に関する理解の促進 ～「水の日」及び「水の週間」～

政府は、水の貴重さや水資源開発の重要性に対する国民の関心を高め、理解を深めるために、毎年8月1日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として定め（昭和52年5月31日閣議了解）、水に関する各種の活動を国、地方公共団体及び関係諸団体の緊密な協力のもとに実施している。

平成21年の「水の日」及び「水の週間」は第33回目を迎え、気候変動などによる渇水リスクの上昇に備え、国民に水の貴重さや大切さを知ってもらい、私たちの普段の水の使い方を見直してもらう機会とするため、「将来を安全・安心に暮らすため、水を大切に使う社会へ」をテーマとして、以下の活動が実施された（表9-1-1）。

(1) ウォーターフェア'09 東京

「水の週間」の中央行事として、東京都千代田区の科学技術館において、「将来を安全・安心に暮らすため、水を大切に使う社会へ」をテーマに水の週間水を考えるつどい及び水の展示会を開催した。

(2) 第31回「全日本中学生水の作文コンクール」

「水について考える」をテーマに、中学生による作文コンクールを実施した。

(3) 平成21年度水資源功績者表彰

水資源行政の推進に、特に顕著な功績のあった個人又は団体を表彰した。

(4) 第24回「水とのふれあいフォトコンテスト」

「水辺の憩い・水のある風景」、「暮らしの中で毎日使う水」、「作物や草木を育て、エネルギーを生む水」などをテーマにフォトコンテストを実施した。

(5) 第29回「ウォーターフェア隅田川レガッタ」

一般、大学、中学生によるエイト、ナックルフォアを実施した。

(6) 水の週間一斉打ち水大作戦

雨水や下水再生水など水道水以外の水を有効利用し、その効果を実感してもらう取り組みを水の週間期間中に体験してもらう試みとして、8月3日（月）の昼休み時間に全国各地で一斉に打ち水をする、水の週間一斉打ち水大作戦を実施した（表9-1-2）。

(7) 全国各地で、水に関する展示会、講演会、シンポジウム、水資源開発施設見学会、水源地域と水消費地域の人々の連帯意識醸成のための上下流交流会などが開催された（表9-1-3）。

平成22年の「水の日」及び「水の週間」については、私たちが普段使っている水の由来を確かめ、水の安全・安心確保の重要性とその対応、水を大切に使うことの必要性について考えてもらう機会とするため、「水の安全・安心を考える ～知っているようで意外と知らない、身近な水のことについて～」をテーマとして、関連行事を機動的に実施する。

表9-1-1 第33回「水の週間」(2009年度)都道府県等行事一覧

項目 都道府県名	ポスター	パンフレット	映画会・音楽会・研修会 講演会・シンポジウム	上下流交流 施設見学会	街頭キャンペーン アンケート	展示会	水の作文コンクール	広報・PR活動等					
								テレビ	ラジオ	新聞	広報紙	ホームページ	懸垂幕・横断幕 電光掲示板・立看板
全国	47	47	6	21	11	19	47	7	11	10	12	33	14
北海道	○	○		☆	☆	☆	◎					○	
青森県	○	○					◎					○	○
岩手県	○	○					◎			○			
宮城県	○	○			☆		◎					○	
秋田県	○	○			☆	☆	◎						
山形県	○	○	○	○	☆	☆	○						
福島県	○	○		☆		☆	◎		○		○	◎	
茨城県	○	○	○	○		○	◎				○	○	
栃木県	○	○					◎		○			○	○
群馬県	○	○		◎		○	◎	○	○	○	○	○	
埼玉県	○	○					◎		○		○	○	○
千葉県	○	○		○		○	◎					○	○
東京都	○	○	○	○		○	◎			○	○	○	
神奈川県	○	○				◎	◎				○	○	
新潟県	○	○	○				◎			○			
富山県	○	○		◎			◎			○		○	
石川県	○	○					◎						
福井県	○	○		☆		○	○				☆	○	○
山梨県	○	○					○						
長野県	○	○					○						○
岐阜県	○	○		○			◎					○	
静岡県	○	○	○		◎	☆	◎	○		○		○	
愛知県	○	○		☆		○	◎		○	○	○	○	○
三重県	○	○		☆			◎					○	○
滋賀県	○	○					◎					○	
京都府	○	○				○	◎				○	○	
大阪府	○	○		◎	☆		◎				○	○	
兵庫県	○	○			☆		◎						
奈良県	○	○		○		○	◎	○				○	
和歌山県	○	○					◎					○	
鳥取県	○	○		○			○						
島根県	○	○					◎					○	
岡山県	○	○		○			○						
広島県	○	○					◎					○	
山口県	○	○					◎					○	
徳島県	○	○			○		◎					○	○
香川県	○	○		◎	◎	☆	○						
愛媛県	○	○		☆		○	○	○	○				☆
高知県	○	○		☆			◎	○	○				
福岡県	○	○		○	○		◎	○	○		○	○	○
佐賀県	○	○		○		○	◎					○	
長崎県	○	○			☆		○						
熊本県	○	○	◎			◎	◎		○	○		○	
大分県	○	○					○			○	○	○	○
宮崎県	○	○					◎		○	○		○	○
鹿児島県	○	○					◎					○	○
沖縄県	○	○				○	◎	○	○			○	○

(注) 「ポスター」欄の○は、全国共通版(国土交通省作成)を配布したことを示す。
 「パンフレット」欄の○は、「日本の水2009」(作成:(財)水資源協会)を配布したことを示す。
 「作文コンクール」欄の○は、都道府県レベルでの「地方表彰」を行っていることを示す。
 それ以外の欄の◎は都道府県に加えて市町村等が独自に取り組んでいることを示し、☆は市町村等のみが独自に取り組んでいることを示す。

表9-1-2 2009年 水の週間一斉打ち水大作戦実施状況一覧

都道府県	実施主体	実施期日	実施時間	実施場所	使用した水の種類	使用した水の量	主な参加者	備考(効果等)
山形県	まちコンやまがた実行委員会	①H21.7.25 ②H21.7.25 ～8.4	①15:00	①山形県山形市中心市街地各所 ②山形市内各所	設備用冷却水、噴水、用水路等	200ℓ	百貨店社員、大学生、社会人、主婦、市職員、商店街の買い物客等	
埼玉県	主催:さいたま市下水道局 協力:国土交通省関東地方整備局、(独)水資源機構、環境省関東地方環境事務所	H21.8.3	12:30、 14:00	JRさいたま新都心駅西口歩行者デッキ	下水再生水	約3,000ℓ	駅利用の通行者等	
東京都	国土交通省、東京都下水道局	H21.8.3	12:30	国土交通省中央合同庁舎3号館玄関前	下水再生水	700ℓ	国土交通省、東京都職員	
神奈川県	藤沢市	H21.8.1～ H21.8.7	16:00～ 17:00	市内全域	風呂の残り湯、井戸水、雨水等で実施していただくよう、市民、事業者等に呼びかけた。			
		H21.8.1	16:00～ 16:30	藤沢駅北口サンパール広場	雨水	250ℓ	一般市民	
	厚木市	H21.8.1～ H21.8.31	10:30～ 16:30	厚木市内	雨水、生活用水(二次利用水)、水道水		一般市民職員	
	TOTO(株)	H21.8.3	12:30	TOTO茅ヶ崎工場内	雨水等	450ℓ	職員100名	
	横浜市西区役所	H21.8.4	14:00	横浜駅西口、東口	賞味期限切れの防災備蓄用の水缶	400ℓ	一般市民	
		H21.8.6	16:00	西区役所、西公会堂・西地区センター、藤棚地区センター	賞味期限切れの防災備蓄用の水缶	260ℓ	一般市民	
		H21.8.7	10:00	野毛山動物園	賞味期限切れの防災備蓄用の水缶	80ℓ	一般市民	
横浜市寿地区自治会、ことぶき花いっぱい運動サポーターの会、(財)寿町勤労者福祉協会	H21.8.7	10:30	(財)寿町勤労者福祉協会広場	保育園のプール用水	1,500ℓ	一般市民		
新潟県	魚沼市	H21.8.3	12:30	消防庁舎	水路の水等	不明	職員	
				小出企業庁舎	水路の水等	不明	職員	
				観光協会	下水再生水	不明	一般市民	
				魚沼交流NW	下水再生水	100ℓ	一般市民	
				小出商工会	下水再生水	100ℓ	一般市民	
				JA北魚沼本店	下水再生水	不明	一般市民	
				JA北魚沼広瀬支店	下水再生水	不明	一般市民	
				堀之内本町商店街	下水再生水	不明	一般市民	
	H21.8.3 H21.8.4	12:30	堀之内企業庁舎	下水再生水	400ℓ	職員	30.0℃→29.5℃ 33.5℃→32.5℃	
	H21.8.4		堀之内庁舎	下水再生水	300ℓ	職員	30.0℃→28.0℃	
			小出庁舎	下水再生水	250ℓ	職員	路面 40.0℃→36.0℃	
湯之谷庁舎		水路の水等	不明	職員	34.0℃→32.0℃			
広神庁舎		水路の水等	不明	職員	体感Δ3.0℃			
守門庁舎		下水再生水	150ℓ	職員	30.0℃→29.0℃			
入広瀬庁舎		下水再生水	250ℓ	職員				
(株)アロンクリーン	下水再生水	不明	一般市民					
富山県	砺波市	H21.8.3	12:30	砺波市役所本庁舎 駐車場南側	下水再生水	約100ℓ	市職員	実施前後で、 1℃程度の気温 低下
長野県	松本市、市地球温暖化防止市民ネットワーク	H21.8.7	12:00	松本市各所	風呂水 井戸水等	不明	企業 一般市民等	
	御代田町社会福祉協議会	H21.8.5	12:00	御代田町平和台児童館等	井戸水等	不明	企業 一般市民等	
岐阜県	(株)岐阜新聞社	H21.8.3	12:30	各務原市	風呂水	100ℓ	一般市民	
愛知県	名古屋市(受託:NPO法人「みずしるべ」)	H21.8.22	16:00	名古屋広小路通り会場	下水再生水	バケツ80杯	一般市民約900名 支部委員53名	

都道府県	実施主体	実施期日	実施時間	実施場所	使用した水の種類	使用した水の量	主な参加者	備考(効果等)
静岡県	静岡市	H21.8.7	14:00	青葉公園 (静岡市葵区)	雨水など 下水再生水	300ℓ	一般市民	
大阪府	長瀬川水辺環境づくり協議会	H21.8.3	15:00	柏原市、八尾市	農業用用水路の水	約840ℓ	小学生、一般市民	
	池尻町子ども会、久米田池をまもる会、岸和田市久米田池、土地改良区	H21.8.16	15:30	久米田池	ため池の水 (直接汲上)	約600ℓ (10ℓ×1杯×55)	子ども他 (55名)	気温2.4℃低下
	土生町子ども会、土生町会	H21.8.30	15:30	岸和田市 土生町	ため池の水 (水路経由)	約500ℓ (10ℓ×1杯×50)	子ども他 (50名)	気温0.7℃低下
	野崎参道商店街振興組合	H21.8.6	15:00	野崎参道商店街	下水再生水	1,500ℓ	店主、従業員、ボランティア等	
	池田市上下水道部	H21.8.3	12:30	池田市役所玄関前	下水再生水	500ℓ	一般市民、職員	
	四條畷市環境行政推進本部	H21.8.3	16:00～	JR忍ヶ丘駅前	天野川上流の農業用水	1,500ℓ	一般市民	
		H21.8.5	16:00～	田原支所	天野川上流の農業用水	1,500ℓ	一般市民	
		H21.8.7	16:00～	四條畷商店街	天野川上流の農業用水	1,500ℓ	一般市民	
	四條畷市上下水道局	H21.8.3～ H21.8.7	16:00～	上下水道局	下水再生水他	日900ℓ ×5日	職員	
	大阪府地球温暖化防止活動推進員、阪南市	H21.7.8	15:15～ 15:45	社会福祉法人 舞福社 舞作業所前	雨水	1,000ℓ	舞作業所生及び職員、山手南子ども会、ボランティア	
	門真市	H21.8.3	16:30～ 16:45	門真市役所	雨水	100ℓ	市職員	
	春日商店街振興組合	H21.8.1～ H21.8.7	各店舗都合の良い 時間で実施	春日商店街全域	雨水	把握していない	春日商店街組合	
兵庫県	芦屋市	H21.8.8	17:00	芦屋市役所	下水再生水	300ℓ	一般市民	
	小野市	H21.8.23	14:00	大池総合運動公園	風呂の残り水	200ℓ	一般市民	
	神戸市	H21.7.19	16:00	メリケンパーク	下水再生水	200ℓ	一般市民	
和歌山県	紀州・和歌山打ち水大作戦本部(NPO法人コミュニティーマネーわかやま)	H21.8.1	13:00～ 16:20～	コーバス和歌山店駐車場 ぶらくり会場	河川水	1,500ℓ	一般市民	
香川県	まんのう町	H21.8.5	13:00	高屋原浄水場	ろ過池洗浄水	1,000ℓ	職員	
熊本県	(財)オイスカ熊本県支部	H21.8.8	16:30～	熊本市中心部一帯 (火の国まつり会場)	下水再生水	10,600ℓ 200ℓ×53	一般市民	
大分県	豊後高田市	H21.8.1	18:00	豊後高田市	-	-	-	昭和の町打ち水大作戦2009
	大分団塊くらぶおおい た水フォーラム、大分県	H21.8.3	17:00	大分市	雨水等	-	-	おおいた打ち水大作戦2009
		H21.8.5						
	おっとりっしゃ!やまが夏祭り実行委員会	H21.8.7	19:00	杵築市	-	-	-	おっとりっしゃ!やまが夏まつり
	(社)大分青年会議所	H21.8.8	18:50	大分市	下水再生水 雨水	-	-	めじろんと府内打ち水大作戦
	べっぶ打ち水大作戦実行委員会	H21.8.20	16:00	別府市	雨水等	-	-	べっぶ打ち水大作戦
サッポロビール(株)	H21.8.23	11:00	サッポロビール新九州工場(日田市)	-	-	来場者 職員	サッポロビール新九州工場打ち水大作戦2009	
鹿児島県	鹿児島県、鹿児島県地球温暖化防止活動センター	H21.8.5	14:00	県庁前	雨水	1,000ℓ	一般県民 (幼稚園児・かごしまこども環境大臣・こどもエコクラブ)	-

表9-1-3 全国各地で行われた水に関する地域行事事例（2009年度）

都道府県	行事名	開催期日	開催場所	主催・共催	人数	内容
北海道	水辺の楽校	7月25日	<古丹別小学校前> 苫前町公民館	苫前町	20名	池を水抜きし、実際にいる生き物を捕まえ、観察し、観察記録や絵手紙を描く
	人口滝の設置	7月31日～8月7日	苫見沢市役所	苫見沢市	約100名	市役所庁舎前に子供達が水に親しむための人工滝を設置
	河川清掃	8月4日	藤琴岡(大空町)	大空町	37名	藤琴川を美しくする会の会員が中心となり河川の清掃活動を実施
	浄水場見学会	8月3日、7日	涌ノ沢浄水場	釧路町	8月3日4名、8月7日56名	浄水場の施設見学及び浄水場の仕組みについて、実験を実施
	夏休み親子水道施設見学会	8月5～6日	豊平峡ダム、定山溪ダム、水道記念館等	札幌市	8月5日64名、8月6日71名	小学校中～高学年の親子を対象に、実際に水が飲料水として家庭に届くまでの経路の見学・学習
宮城県	親子工作ツアー「水辺で遊ぼう！おころアート」	8月8日	仙台市水道記念館	仙台市水道局	小学4～6年生と保護者20組	仙台市の水脈である青下木源池を会場に、親子で参加できる企画を実施することにより、水源を守り将来に継承していくことの必要性を学び、水循環意識を醸成
秋田県	水の学習会	8月1～2日	秋田市仁井田浄水場	秋田市上下水道局	—	特別開館(当日は予約不要で見学可能)
	水のポスター展	9月1～24日	秋田ニューシティビル1階特設会場	秋田市上下水道局	—	小学生が描いた水に関するポスター展
山形県	第4回森と水そして月光のしるべ	7月26日	月山ダム湖畔(くわたいさくら公園)	「森と水そして月光のしるべ」実行委員会(山形県も参加)	—	月山ダムを水源とする「森と水の園」を広く県民に認識してもらうことを目的に開催。コンサート、芸術発表を実施
	水の日・水の週間街頭啓発	7月31日	米沢市内量販店	米沢地区地下水利用対策協議会	—	協議会員が啓発用らわや水ヨーヨーを市民に配布し、地下水の大切さを啓発
	ながい水まつり	8月1日	最上川河川緑地公園	ながい水まつり実行委員会(事務局:長井市観光協会)	—	長井ダム現場見学会、陣雨体験、現場のPRパネル展、上下水道展等
	夏休み親子水道教室	8月4～7日	渡辺・山形・村山・庄内浄化センター	伊川山形県下水道公社	—	施設見学、ビデオ鑑賞、微生物の観察、工作
福島県	水の展示会	8月1日～8月7日	福島県庁内地下	福島県	—	水に係る関係部局によるパネル(湖沼や河川、うつくしま「水との共生」プラン、水資源開発施設、砂水のPR、全日本水の作文福島県コンクール入賞作品等)の展示
	水道パネル展示	8月1～7日	郡山市水道局1階フロア	郡山市	—	水道に関するパネル展示
茨城県	夏のアクア施設体験ツアー	7月20日	霞ヶ浦浄化センターほか	茨城県土木部都市局下水道課	県内小学生とその家族56名	霞ヶ浦浄化センターの見学(浄化対策の学習)、霞ヶ浦環境科学センターの見学(霞ヶ浦や水についての体験学習など)
	いばらき水フォーラム	7月23日	茨城県立図書館	茨城県企画部水・土地計画課・茨城県立図書館	150名	水の作文コンクール茨城県表彰式、水に関する講演
	両西川ダム水源交流事業(児童交流)	7月29日～7月30日	県立白浜少年自然の家ほか	主催:茨城県企画部水・土地計画課、茨城県企業局 支援:船木県、日光市、常陸市、国土交通省両西川ダム工事事務局	日光市両山地区及び常陸市の小学4年生児童23名	浄水場等の見学児童交流会(野外活動など)
	夏休み親子水道教室	8月1日	県中央水道事務所	茨城県企業局	77名	浄水場見学、水に親しむイベント、水作り実験教室
群馬県	水の作文コンクール優秀作品展示	8月3日～8月9日	県庁舎アトリウム	茨城県企画部水・土地計画課	—	「全日本中学生水の作文コンクール」茨城県著者優秀作品の展示(最優秀賞、優秀賞、入賞 計6編)
	ぐんまウォーターフェア	7月31日～8月2日	ぐんまこどもの国児童会館	主催:群馬県 共催:群馬県児童健全育成事業団	2,500人	「みんなであそぶ水のこころ」をテーマに水とくらし、水を守ろう、水を知ろうなどのコーナー別に、森林、ダム、河川、発電、上下水道などに関するパネル展示や職員の説明を実施
千葉県	ぐんまウォーターフェア	8月20～21日	みなかみ町	利根川水系上下流交流事業実行委員会	108人(小学生親子)	奈良沢ダム見学、間伐体験、奥利根水源の森での自然観察
	上下流交流事業	7月23～24日	両西川ダム	千葉県	—	千葉県日光市との小学生児童による交流
	水の展示会	7月31日～8月7日	八ッ場ダム	千葉県総合企画部水政課	—	群馬県吾妻郡長野原町の小学生児童による交流
神奈川県	かながわの水資源展	7月28日	小田急相模大野駅改札口前(相模原市)	かながわの水資源展実行委員会(県企業庁、横浜市、川崎市、横浜市内各水道事業者、神奈川県内各水道企業団、県土地水資源対策課)	966人	水資源の重要性について、県民への広報・啓蒙を進めるため、パネルの展示や広報資料の配布会場では、水に関する簡単なクイズを行い、回答者に対して、水の節減等の記念品を配布
		8月4日	横浜新郷心プラザ(横浜市)	—	1,655人	
		8月6日	ショップ・バズプラザ横浜(横浜市中区)	—	624人	
		8月7日	溝の口駅前プラザ(川崎市)	—	402人	
新潟県	第14回水シンポジウム2009inにいばた	8月11～12日	朱鷺メッセ(新潟市)	第14回水シンポジウム2009inにいばた実行委員会	約750名	「水と人との好ましい関係」を全県に発信することを目的として、4分科会、パネル展示、特別講演、現地見学会等を実施
富山県	上下水道探検バスツアー	7月25日	流杉浄水場、黒川浄化センター	富山市上下水道局	53組101人	流杉浄水場の施設見学会
	第25回庄川水まつり	8月1～2日	庄川水記念公園	庄川水まつり実行委員会	15,000人	毎年、水をテーマに様々なイベントを実施。全国的にも珍しい「全日本流木祭り遊手権大会」を、メインに「ターザン遊手権」や、大人から子どもまで楽しめるイベント「庄川探検隊」等を開催
福井県	水の展示会	8月3～7日	福井4-6(福井1階)	福井県	—	県内の生活用水の使用実態や、地盤沈下、地下水が汚染される仕組みを紹介するパネル等の展示
	水を守る見学会	8月23日	丸瀬浄水場、日野川浄化センター、治水記念館	福井市環境パートナーシップ会議	24名	水道、下水、治水・利水について施設見学と説明会
岐阜県	水資源開発施設見学会	8月5日	徳山ダム、横山ダム	(株)水資源機構、岐阜県	41名	小中学生を中心に水資源開発施設(徳山ダム・横山ダム)の施設見学会を実施
静岡県	水の週間街頭キャンペーン	7月30日	JR三島駅前	三島市、沼津市	—	水の週間の啓蒙を通して水への関心を高める
	上下水道フェア	8月7日	青葉公園イベントスペース(静岡市葵区)	静岡市	—	水道と下水道の仕組み等を広く市民にPRし、水の大切さや有限性に対する市民の関心を高める

都道府県	行事名	開催期日	開催場所	主催・共催	人数	内容
愛知県	あいちの農業用水展	7月10日 ～8月12日	愛知県図書館(名古屋市中区)	愛知県	4,300人	・農業用水に関するパネル展示 ・桶水130年を伝える明治用水の特別展示 ・愛知県図書館とのコラボ企画
	愛知県水質試験場見学会	8月4日	愛知県水質試験場	尾張旭市	—	愛知県水質試験場内の見学
	水の作文コンクール展示会	8月14日 ～9月9日	愛知県図書館(名古屋市中区)	愛知県図書館	—	「全日本中学生水の作文コンクール」愛知県表彰受賞作文のパネル展示
三重県	夏休み親子水道教室	7月31日	鈴鹿市水道局	鈴鹿市水道局	25組(51名)	施設見学(1舎・送水場・配水池)、水と地域産業(お茶のおはなし会)
	ダム見学会	8月2日	比奈加ダム(名張市)	(独)水資源機構、名張市上下水道部	500人	・名張市上下水道部で供給している水を「ボトルウォーター」(500mlペットボトル)に充填し、作製したものを来場者に配布 ・各種イベントコーナーにて地域特産品の販売やエコに関する展示など
京都府	パネル展示	8月3～7日	京都府庁2号館展示ロビー	京都府	—	ポスターの掲示、啓発パネル(水資源の活用パネル等)、水の作文コンクール優秀作品のパネル展示
大阪府	夏休み「水づくり体験」in 村野浄水場	8月2日	村野浄水場(枚方市)	大阪府水道部	575名	水道水がどのように作られているのかを見学することにより、府長に「安全でおいしい水」について理解を深めていただく。内容は下記のとおり ①施設見学 ②実験(水づくり実験・かび臭体験・残留塩素実験) ③利き水
	琵琶湖バスツアー	8月4日	琵琶湖	摂津市(大阪府協賛)	39名	琵琶湖バスツアー「あなたも水問題を考えませんか」
奈良県	ダム施設見学会	8月4日	宝生ダム、布目ダム	奈良県、(独)水資源機構	78名	県民を対象とした、宝生ダム、布目ダムの施設見学会
	パネル展示	8月3～7日	県庁内県民ホール	奈良県、大滝ダム事業促進協議会	—	大滝ダムの紹介、水源地域の紹介などのパネル展示
鳥取県	ぐるり水の探検	8月8日	東郷ダム、円光町水源地、天神浄化センター	天神川流域水道事業推進協議会、(財)鳥取県天神川流域水道公社	61名	小学生の親子を対象に、水の循環、利用、浄化について学習し、水の大切さ、下水道の役割等について理解を深めてもらう
岡山県	ファスタ・イン・工水	8月5日	工業用水道事務所(倉敷市西之瀬浄水場)	岡山県企業局、岡山県工業用水協議会	580人	工業用水施設見学会、ステージイベント、魚のつかみ取りや浄水ケーキと花菰販売等
徳島県	水の週間in那賀川	7月21 ～25日	伊予南栗原	「水の週間in那賀川」実行委員会	—	「水の日」及び「水の週間」の行事の一環として、水の大切さを啓発するための街頭広報を実施、商店街の店舗を借りて、啓発冊子を配布、パネル展を開催、アンケート実施
	吉野川フェスティバル	7月31日 ～8月2日	吉野川高水艇	吉野川フェスティバル実行委員会	—	「水の日」及び「水の週間」の行事の一環として、水の大切さを啓発するための広報を実施、フェスティバル会場において、啓発冊子を配布。
	デラシ等配布	8月3日	伊徳島駅前	徳島県、(独)水資源機構	—	啓発冊子を配布し、「水の週間」の周知を図り、水の大切さを呼びかけ
香川県	まちなか・水・キャンペーン2009	7月30日	高松市イオン高松ショッピングセンター	(独)水資源機構、香川県水道局	約110人	パネル展示、録水PR、アンケート
	浄水場見学会	8月2日	高松市水道局川沼浄水場	主催：高松市水道局 協力：NPO法人イー・プロフェス	44人(小学生21人・保護者23人)	★水に親しみ、理解を深めてもらうため、浄水場施設見学や体験型のゲームを通じて学んでもらう。 ・川沼浄水場施設見学会 ・プロジェクトWET(水に関する教育プログラム)の実施。 ★協力：NPO法人イー・プロフェス ★町内小学生5年生対象の浄水場見学 ★録水広報パンフレット配布
愛媛県	水の展示会	8月3～7日	県庁第一別館ロビー	愛媛県	—	水の週間について、録水の工夫、湯水を汚く取り組み、愛媛県の水事情、全日本中学生水の作文コンクール入賞作品、水とのふれあいフォトコンテスト受賞作品の展示
	親子水道施設見学会	8月5日	市之井浄水場	松山市公営企業局	164人	企業局職員の案内のもと、親子で市之井浄水場の見学を実施
高知県	施設見学バスツアー	8月2日	高知県上佐郡土佐町、長岡郡大豊町 他	高知市水道局	45人	早明ダム施設見学及び魅力発電施設見学バスツアー
福岡県	施設見学会	8月25日	寺内ダム 福岡導水 筑後大堰	(独)水資源機構	37名(福岡市 県出公民館)	筑後川から福岡市へ水を供給している施設を訪ね、自分たちの使う水がどこから、どのようにして運ばれてくるのかを学んでもらう
	福岡都市圏水キャンペーン	8月3日	福岡市(天神)、久留米市	九州地方整備局、福岡県、福岡市、(独)水資源機構、各水道企業団、久留米市	100名	水の週間に合わせて啓発物資を配布する。その際、通行人に録水に対する協力を訴えることで、録水意識の向上と水の日周知を図る
佐賀県	水資源施設見学会	7月28日	みやき町、久留米市、朝倉市	(独)水資源機構	26名	筑後川下流用水佐賀機場の見学、くるめウスの見学、両草平野水総合事業場の見学、三浦水車の里あきらの見学
	水の作文コンクール展示	8月1～31日	さが水ものがたり館(佐賀市大和町)	さが水ものがたり館、佐賀水ネット	—	水の作文コンクール佐賀県審査優秀作品10編の展示
長崎県	クナギ放流会	8月3日	松浦市志佐町志佐川	松浦市	40人	「うなぎ」「モズガニ」の放流
	第2回水フェスタ	8月29日	長崎水辺の森公園	長崎市	約500人	家庭に供給される上水がどうやって作られているかを紹介する実験、下水処理に活躍している微生物の観察、上水とミネラルウォーターの利き水、録水コマ取り付け体験等
熊本県	くまもと水の週間記念式典	8月1日	県城大学市民ホール(熊本市民会館)	熊本県・熊本市共同開催	200名程度	水の作文コンクールと熊本県が行った水のポスターコンクールの表彰式と記念講演等を実施 講師：田中浩二熊本電設工業高等専門学校校長名教授 旗題：治水調査から分かったこと～熊本の水資源の現状と未来～
	水の作文コンクール入賞作品展示	8月1日	県城大学市民ホール(熊本市民会館)	熊本県・熊本市共同開催	200名程度	記念式典の会場で、「全日本中学生水の作文コンクール」熊本県入賞作品10編、「熊本県中学生水のポスターコンクール」入賞作品10編の展示
沖縄県	水の展示会	8月3～7日	県庁舎1階県民ホール	—	—	①パネル展示：「私たちは水をどのように使っているのか」「私たちにできる録水は」「水の有効利用・再利用」 ②録水等の資料・ポスター展示 ③冊子の配布：録水「私たちに水」 ④録水コマ配布

2 水資源に関する意識

平成20年に内閣府が実施した「水に関する世論調査」によると、使っている水道の水源について約7割の人が「知っている」（「知っている（具体的な河川や湖の名などまで知っている）」42.5% + 「ある程度知っている（河川や湖などであることは知っている）」25.2%）と回答している。年齢別にみると、50歳以上では75%以上の人が「知っている」と回答しているのに対し、20歳代では「知っている」と回答した人は約4割である（図9-2-1）。

普段の生活での水の使い方について約7割の人が「節水している」（「ある程度節水しながら使っている」58.3% + 「まめに節水して使っている」14.0%）と回答しており、約3割の人は「豊富に使っている」（「節水のことは考えず、豊富に使っている」4.0% + 「節水は必要と思いつながら、豊富に使っている」21.8%）と回答している（図9-2-2）。

普段の生活で水を「節水している」と回答した人のうち約7割は、節水を心がけている面に「風呂」を挙げており、次いで、「洗濯」、「洗面」、「炊事」の順となっている（複数回答、上位4項目）（図9-2-3）。

普段の生活で水を「豊富に使っている」と回答した人は、その理由として「衛生的だから」、「ただなんとなく」を挙げている人が多く、以下「水はいくらでもあるから」、「豊富な気分になるから」、「使用量が少ないから」の順となっている（複数回答、上位5項目）（図9-2-3）。

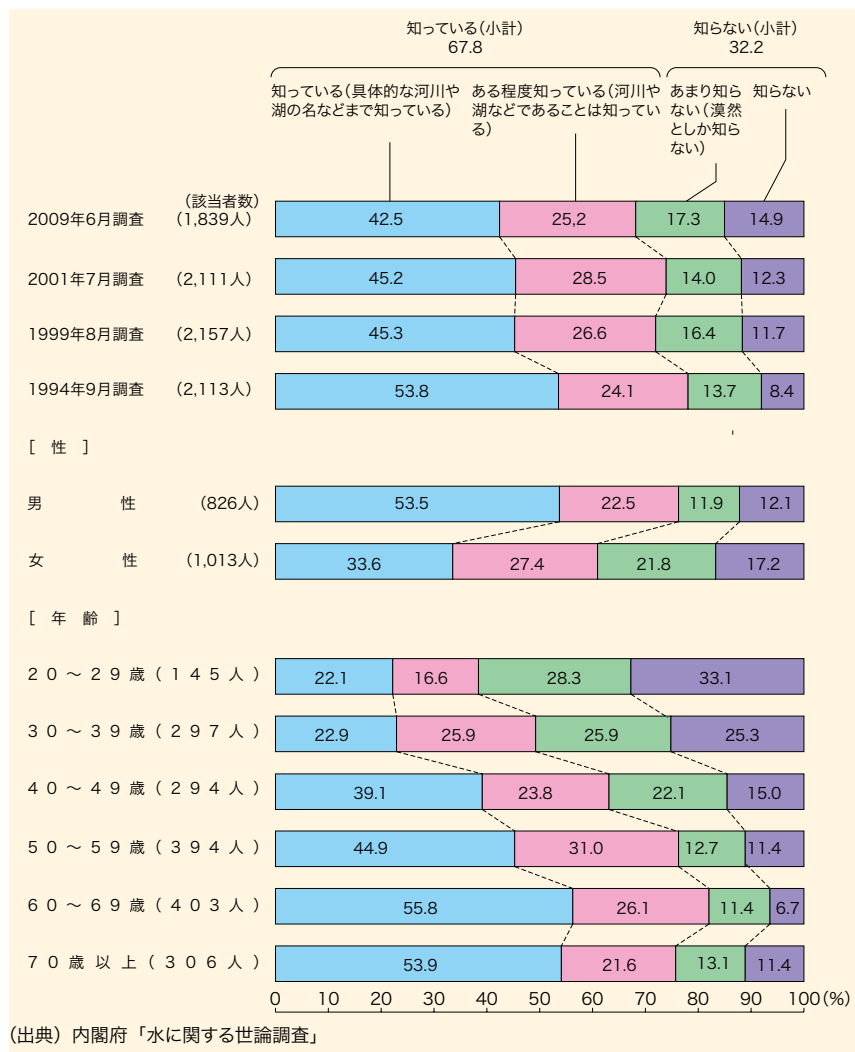


図9-2-1 水道の水源の認知度

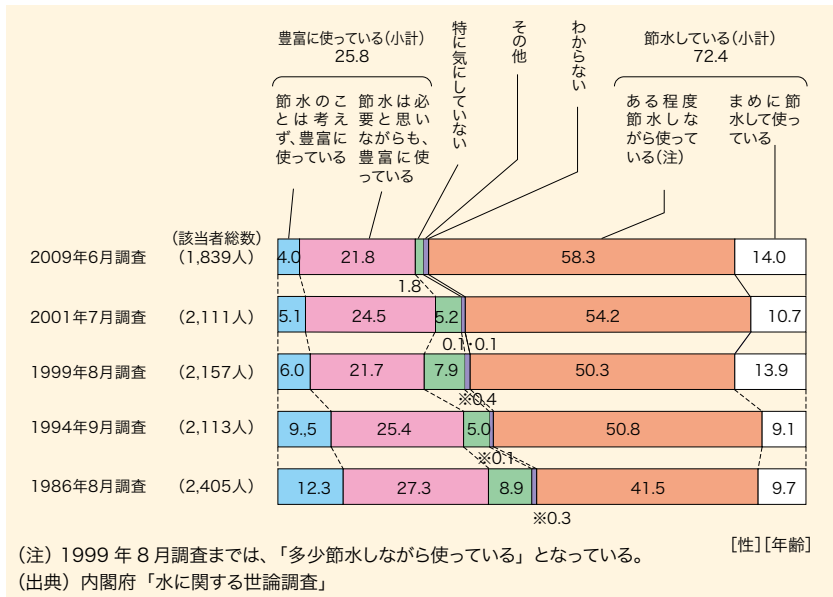


図 9-2-2 水の使い方

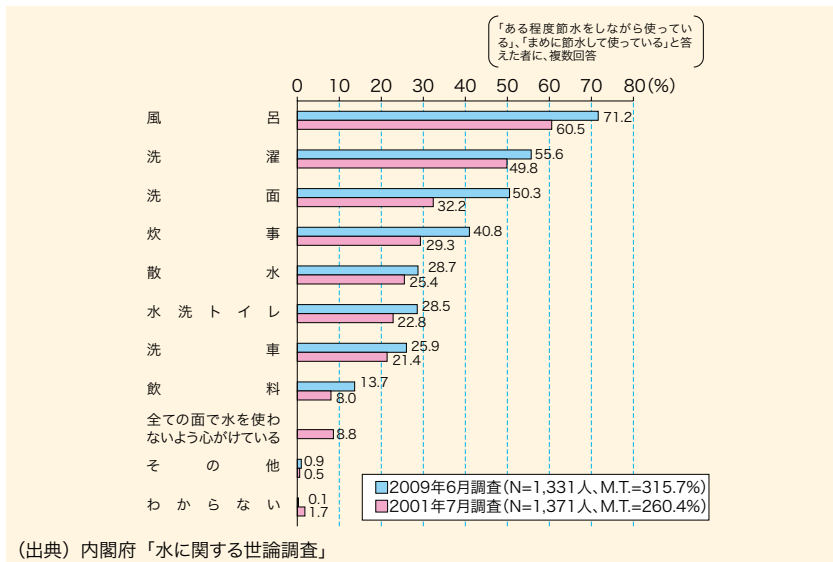


図 9-2-3 節水を心掛けている面

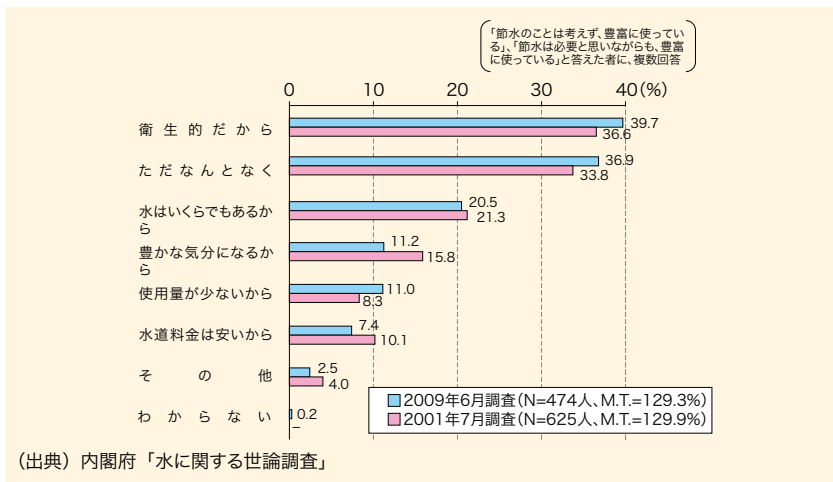


図 9-2-4 水を豊富に使う理由